

# あそびで父・爺ちゃんの泣き笑い part.26

「心が和む瞬間」 あらい こうじ まこ  
新井 幸司さん (真子さんのお父さん)

忙しい毎日の中にも「ほっ」と心が和む瞬間があります。

仕事が終わりと、足早に保育園に真子を迎えに行くと、保育室の中から私を見つけ「にこっ」と笑って一目散に私のところまで駆け寄ってきてくれるその瞬間です。

仕事でどんなに疲れていたとしても、その瞬間疲れも一気に吹き飛びます。そして、一日も終わりベッドに横になり気持ち良さそう眠っている真子の表情を見てみると、なんと幸せな気持ちになります。



忙しい日々を追われ、送迎が大変だなあと思う日もありました。どうしても目の前の大切なものを見失いがちになりますが、そんな時に真子の笑顔や、気持ち良さそうに眠っている顔を見ると、目の前にある大切なものに気づかせてくれます。

そんな毎日の繰り返しですが、子どもの成長と共に親としてもまだまだ成長していかなくてはと思う今日この頃です。残りわずかな保育園生活ですが、心が和む瞬間をひとつでも多く見つけられるよう、真子と一緒に心豊かに楽しんでいけたらと思います。

「孫の成長」 なかがわ けんいち  
中川 賢一さん

ゆうや しゅうじ  
(佑哉くん、終智くんのおじいさん)

次男(佑哉)三男(終智)の兄弟ふたりの成長には驚きを感じます。次男は三男とのあそびの中で、三男を思いやる言葉と行動をとる事が多くなり成長を感じます。

また、三男は言葉がたどたどしいですが、言葉で自分の思いを表現しようとする姿が頼もしく感心しています。

人に優しく育つよう、じじばばは応援しているよ



# あのおね〜

第29号

2019年3月発行  
興道南部保育園  
米沢市本町1丁目1-84

0238-21-3756



興道南部保育園  
ホームページ  
QRコード



ゆり組20人  
全員集合ー!!



「ばったさんがわいろう」  
よねやま りい(5歳児クラス)



「はなまつり」  
まつした ももか(5歳児クラス)

「ハツとして、ホッとしてできる園庭」  
興道南部保育園 園長 佐藤 和子

当園が今の場所に移転してから五年が経ちました。園舎は、田園に囲まれ、吾妻山や米坂線の電車が間近で見られる、のどかな環境に恵まれています。

園庭は広く、走ったり、サッカーしたり、遊ぶには最適である反面、旧園舎の時のように、虫探しや落ち葉で遊びながら四季を感じる姿や、山の土を掘って泥だんごをつくる姿、そして、起伏がある地面の上でバランスをとりながら追いかけてこまかくけんぽをして遊ぶ姿は、残念ながら見ることができなくなりました。

子どもたちが、自然を感じながら楽しめる場面、挑戦できる物やじっくり遊び込める空間、友だちとかわりながら遊びを広げられる環境作りを目指して、**プロジェクト**を立ち上げ、子どもたちだけではなく、大人にも魅力的な園庭改革が始まりました。

保護者の方のご協力を頂きながら、昨年度は砂場の砂の入れ替え、今年度は手作りの東屋二棟を作った頂きました。

子どもたちも手作りのテントを作るなど、意欲的にあそびを繰り返してきています。

この二つの環境は、異年齢児同士の「**見て、真似て、学ぶ**」という遊びの広がりや、こっこ遊びのイメージを膨らませ、やりとりを楽しむ姿に発展しています。

囲われた空間は、心を落ち着かせ、ほっとひと息つける場所にもなっていたと思われまふ。現在、園庭にはヒューム管が設置されていますが、暖かくなる頃には、築山作りを計画しています。

また、けやきの木を植樹する予定もあり、虫探しや四季を感じられる環境となることを期待しています。

子どもたちが、変わりゆく園庭の環境を通して「〇〇したい」「明日も〇〇で遊びたい」という意欲や、遊びを通して「おもしろい」「不思議だな」という感性を友だちや保育者と共有したり、いろいろなことに気づき、試し、工夫しながら、心豊かな学びへと繋がっていくことを願っています。

編集  
後記

平成最後の「あのおね〜」は29号を発行することができました。本号では、保育者とかかわりを通して成長していく子どもたちの姿を皆さまにお届けしました。この1年間、沢山の経験を通して、心も体も大きく成長した子どもたちです。これから、子どもたちの健やかな成長を見守りながら、充実した保育園生活を送れるよう保護者の皆様、地域の皆様方のお力添えをいただくと有り難いです。





# 人とのかかわりを通して あっきくなってくよ!

今回は、大好きな保育者の真似をする姿、安心できる職員と一緒に考える姿、友だちと一緒に考え、工夫し、試したりしながらいろいろなことを経験する子どもたちの姿を紹介します。

子どもたちは、いろいろな人とのかかわりを通して、自分の存在を意識していきます。

保育者や子どもたちとかかわる職員は、子どもたちが育とうとしている姿に合った環境作りや、学びに繋がる経験を大事に考え、日々、子どもたちとかかわっています。

子どもの気持ちを受けとめ、やりとりし、信頼関係を築きながら、子どもたちが、人とのかかわりを通して“あたたかさ”や“安心感”などを味わい“人が好き”と思える瞬間を体感してほしいと思っています。



2歳児

夏のある日の  
出来事より



……乳児園庭であそんでいると、そこにスズメが亡くなっているのを子どもたちが見つけた。

「病院へ連れて行こう」と言い出した子どもたち

死んじゃうと病気は治せないことや、お釈迦様のもとに行けると良いねと子どもたちに伝えると、  
「かわいそう%」

「もう、ママにあえないね」と悲しげな表情をみせていました  
このスズメが天国に行けるようにするためにどうすればいいのかな…

子どもたちと少しのあいだ一緒に考えました  
保育者が「なむなむ（お経）してくれる人誰だっけ?」と聞くと  
「あ～!!藤戸（次長）さんだあ」と、すぐにひらめいた子どもたち  
早速その日の夕方にご祈祷してもらうことになりました

藤戸次長がお経をあげ、手を合わせながらそっとお祈りしました  
「また、あおうね」

「おほしさまになってね」

お墓を作って花を飾る子どもたち  
スズメの命を悼み、どうしてあげたいかを考えようとする姿に、  
成長を感じた出来事でした





# 0歳児

## もぐもぐ 食べるのだ～いすき

保育者が食事の準備を始めると、指差しをして待ちきれない様子の子どもたち



食べたいという意欲や、食べ物の好みが始めると、自分から手を伸ばし手づかみやスプーンを使って口に運ぶようになります  
そんな時期になると大人の手助けを嫌がったりもするので、食べやすいようにスプーンに乗せたり、お皿に取り分けて自分で食べたい気持ちを大切にできるようにしています

保育者も一緒に「モグモグ」と口を動かして「おいしいね～」とやり取りしながら、ゆったりとした雰囲気の中で、楽しく食べられるように見守っていききたいと思います



モグモグ…モグモグだよ

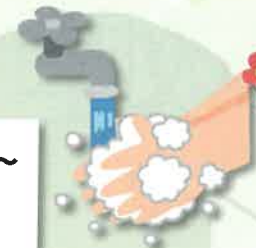


自分で食べるって たのしいね

# ゴシゴシ手洗い 気持ちいい～!!

# 1歳児

♪ おねがい、おねがい、かめさんよ～  
あの さんかくの お山まで  
おおかみさんと きょうそうだ  
バイクでぶるん いったうしょう



童謡『うさぎとかめ』の替え歌に合わせて、子どもたちは保育者と一緒に手洗いをしています

歌うことで手洗いへの興味を持ってもらい、洗う順番や感覚を覚えられるように丁寧にかかわるようしています  
始めの頃は、石けんの泡を付けて、手をちょっとすり合わせた程度で終わっていたのですが、保育者が歌に合わせて実際に手洗いをしていると、手の甲や指、手首まで洗うことを真似しながら覚えて、次第に子どもたち自身も歌いながら自分で洗えるようになってきました



指のあいだもゴシゴシだよ



外から入ってきた時、食事の前など、1日の中で何度も手洗いをしているうちに、お友だち同士で楽しそうに歌いながら気持ち良さを味わっている子どもたちです



さいごにあわあわもジャーするよ

# スイカを食べた犯人は?

今年も異年齢グループごとに畑づくりをしました  
毎日水かけをおこない、大事に育ててきた作物のなかにスイカがありました

少しずつ大きくなっていくスイカの成長を見守りながら、もうちょっとしたら収穫かな?と子どもたちと話していた矢先の出来事でした……

朝、いつものように水かけに出ると、黄色いスイカが何者かに食べられているのを発見!!  
子どもたちは、これは一大事とばかりに誰が食べたんだ?と捜索活動が始まりました  
「ハクビシンも この辺にいるからなあ…」と話す

「スイカを食べたの、ハクビシンだ!!」と驚き、ハクビシンに対する興味で、ちょっとした騒動になりました

そんな子どもたちの様子を見て、「ハクビシンって、どんな動物だろう?」

と保育者が話すと、保育園の動物図鑑をみんなで調べ始めました

すると、その中からハクビシンを見つけ「これが犯人だ!!」と興味深々の様子

残りのスイカには、しっかりと網をかけて被害にあわず立派に成長し、収穫することができ、みんなで美味しくいただきました

# 幼児組



# DIYで テントづくり

掘った穴に小枝を入れて「バーベキュー」と言っていたので、さりげなくバーベキュー用の網を準備すると……

石を並べた上に、その網を乗せて、その上にソーセージやお肉に見立てた木を並べ「いいにおいしてきた～」と、バーベキューごっこを始めました  
バーベキューといえば『テント』というアイデアが子どもたちの中から浮かび、今度はテント作りが始まりました

園庭の隅の枯れ木を使い、保育者と一緒にノコギリの使い方を伝えながら木を切り、その木を組み立て紐で結び、遮光ネットをかけてテントが完成～

自分たちの基地のようにして、テントの中でバーベキューごっこなど冬まで盛り上げてあそぶことができました

子どもたちの発想や思いを大切にしながら、子どもたちの主体的なあそびが発展していくようなかかわりを今後も続けていきたいと思ひます



これがハクビシン?



うわ～おいしそう!!



ノコギリって ちからは入れるよ



BBQ会





# 園庭改革

## 野育プロジェクト ～第1弾～

### 「野育（のいく）」で育むこと

- ・ 園庭や公園、地域や自然環境などという屋外空間において、子どもたちが物や人の様々な出会いを通して自ら育っていくこと
- ・ 人間の生涯の基礎を創る重要な時期に、身体や頭を使い心を動かしながらコミュニケーション能力を高めること

南部保育園では、この野育の理念のもと園庭改革に取り組んでいます。子どもたち自身が楽しめる園庭を目指し、ぼっぼの会役員の方を中心に保護者の皆さまもお手伝いしていただきながら、第一弾は「東屋づくり」がおこなわれました。

見事な手さばき。さすが屋根職人です

7月某日  
早朝

暑い中、大変お疲れ様です（感謝）

笹巻きのお振る舞いありがとうございます

廃タイヤに穴開け作業もしていただきました

土管も設置され、今後は楽しみです

お楽しみです

おみせやさん  
たのしいね

ジャジャーン

立派な東屋が完成-----!!



### ご協力いただき、ありがとうございました

ぼっぼの会海藤会長さんの設計をもとに、見事なチームワークで約2時間で2基の東屋が完成しました。完成した東屋では、お店屋さんやおままごとなど、めいっばい楽しんであそんだ子どもたちでした。

参加していただいた保護者の皆さま本当にありがとうございました。  
次年度、第2弾として着々と計画しておりますので引き続きご協力を宜しくお願い致します。